

# 早すぎる大雪！畑けに入れない！



懸命に畑に入る農家の人

11月5日から6日にかけて降った雪は7、10センチ。この時期にはめずらしい大雪で、国道・道道では除雪車が出勤する事態になりました。

この積雪で農業へも影響が出ていて、JAによると甜菜（ビート）の耕作面積の約2割が畑に掘り残しになっているとのこと。ある農家の方は「8月に台風が3回も来て川が氾濫して畑に流入してしまっただ。馬鈴薯とビートが水につかり腐れが入り大打撃を受けた。残っている17ヘクタールのビートもこれから掘るところだったのに、これでは畑に機械が入れない、早く天気になってほしい」と不安の声を上げていました。



親子で平和の提灯

## 現役自衛官の 家族の思い

南スーダンに派遣されるPKO部隊は、次回で第11次隊となります。安倍政権は安保法制（戦争法）の最初の任務となる「駆け付け警護」や「宿营地の共同防護」を付与しようとしています。市内に住む現役自衛官の家族に率直な気持ちを伺いました。

「イラク（派遣）から帰ってきた時、『本当の事が公表されていない』と息子が言っていた。南スーダンが落ち着いているなんて状態じゃないと思う。南スーダンの第1次隊には、網走出身の若者が2人参加した。あの時と今は全然違う。『駆け付け警護』などをやったら、必ず現地の人を殺すことになると思う。ゲリラがどんな服装か判断などつかないのだから・・・。そして自衛官だったじゃやすまない。親は誰も南スーダンに行つてほしいとは思っていない、しかし口を開けることはできないんだ。」と話してくれました。



帽子岩

## 松浦 奮戦メロ！

TPPについて、衆議院の特別委員会で強行採決されたことを受けて衆議院本会議で可決・成立すれば、30日以内に参議院で議決しない時は「衆議院の議決を国会の議決とする」と規定していることを理由に一部報道で「自然成立」といつていますが、それは間違いです。

条約はその通りですが、TPPは条約だけでなく、関連法案もあります。法案に自然成立はなく、関連法案も含めて可決・成立しなければ批准のための国内手続きが終わる

たことにはならないので、諦めるのは早すぎます。

参議院での審議はこれからです。衆議院で審議不十分だったため国民にはTPPについて内容が理解されていないので、参議院でしっかり審議して廃案にしなければなりません。安倍政権は参議院でも強行採決を狙っているようですが、とんでもありません。断固反対！



### 「ストップ戦争法網走の会」から 11月活動のお知らせ

※安倍政権は、南スーダンの現実をゆがめ国民に事実を伝えようとしないまま、戦争法（安保法制）の具体化（駆け付け警護など）をしようとしています。

- 1. 宣伝カーを走らせます  
「南スーダン派遣の自衛隊を今すぐ撤退させよ！命を守れ！」  
期間：13日～19日 市内全域  
見かけたら応援願います
- 2. 街頭宣伝をします  
19日（土）  
11時～ 駒場ベーシック店前  
11時25分～ 橋北ベーシック店前  
みなさんの参加をお待ちしています！

## 流氷

▼初めて119を押した。ピーポーピーポー、初めてパジャマのまま担架に乗せられた。名前・生年月日を確かめられ、「痛みは我慢しないでください。ね。」と、穏やかな声心地よく、「そうか、がまんしたんだなア」と思った。虫垂炎だった。後期高齢者の患者は、少なくともいらしい。9日間絶食、抗生物質、痛み止め、栄養剤と点滴で血管がブシ色。重湯を食べたときから数値が下がり痛みが止まった。

▼退院時、我が家の1ヶ月分の生活費をそっくり支払った。心身ともに痛い夏休みだった。▼周りに年金生活者が多い。野田内閣時代に2.5%年金削減法律を強行採決した。年金が削られるとは思ってもよらなかった。▼年金は、『老後を生きるための命綱』。長生きすると病気や怪我が増えていくから、40年前の両親たちの医療は無料だった「若い医師が爪の先まで見てくれるよ。」と、母の笑顔が浮かぶ。▼安倍政権は介護・医療・患者負担保険料の大幅値上げ、後期高齢者にダブルパンチの医療改悪を新たに計画している。

▼極め付きは、核兵器禁止への決議案が大多数で採択された国連委で、日本は反対の立場に拳手をした！唯一の被爆国なのに、『がまんして（黙って）いては生きる権利をなく奪われる。』▼11月26（土）10時・年金者組合事務所・医療、介護、年金の学習会が開かれる（イス式）。優しい声と、内容でわかりやすく、誰でも参加して学べる（て）